



シニアライフアドバイザー 伊東 靖明

就職に関するトラブル

大学3年の夏前、親しくしている家から、親類が丸善石油会社にいるので就職を希望するなら紹介するとの嬉しい話がありました。丸善石油の松山製油所の製造担当重役だという。工業化学科で石油に興味を持っていたので実習が出来るか聞いて貰うとOKの回答がありました。

室蘭の大学から実家の足尾に帰らずに丸善石油の松山製油所に直行、会社の寮に入りさらに20日の延長を認められ、希望するなら就職もOKの話になったのです。しかしこれが問題の引き金でした。

友人に譲った経験

当時の就職担当の教授が、「自分を経由せずに学生が勝手に企業を決めるのはとんでもない話だ、進級させない」と、一悶着になりました。

丸善石油にこの旨を連絡すると「当てにしていたのだから代わりの学生を紹介しろ」と人事から依頼が来たのです。私の丸善石油の実習の話聞いていた友人が是非行きたいと希望しました。

私が内緒で丸善石油に友人の紹介状を書き、大学に正式に求人申し込みを行ってもらい、友人はめでたく丸善石油へ就職しました。

その後の私の就職活動

私のゼミの教授の口添えで4月末にやっと4年生の進級合格をもらい、晴れて就職活動を始められました。学生数が少ないので、当時は1企業に1名の学生をあてがわれました。石油会社はスタンダードバキュームのセールスエンジニア募集しか残っていませんでした。当時のスタンプは横浜のグラントホテル横が本社でした。工学部系の学生は、個別に面談が行われ、群馬大学の学生と二人で面談を受けた。その日のうちに二人とも合格しました。

会社の分割でモービルに就職

その年の暮れにアメリカの公取委の勧告でスタンプは元の企業のエッソとモービルに分割され、二社ともモービルになったのです。

驚いたのはその時に初任給も18,000円から21,000円に上がり、歌謡曲で初任給が13,600円と歌われた時代だったから



18,000円でも高給と思っていたのでびっくりした記憶があります。

お前は技術もあるが営業能力もあると、おだてられて、企業分割の人手不足から山梨、長野、新潟三県の企業向けの工業製品の営業と、技術も担当したりする過酷な勤務内容でした。

「23歳で自家用車を持って、行動計画は全部自分で立てて行動しろ」の方針でした。23歳で車を持っていたので世間からは余程の身分と思われたものです。浜松町の貿易センタービルの完成で支店が大手町から移転しました。

フジコンサルトに入社

同じ栃木県出身の一年後輩が、独立して中小企業代理店の販売管理処理を電算化する会社を設立しました。社名はフジコンサルト。フジは富士山、二つとない不二、潰れないようにという意味で不死、偉ぶらないようにコンサルタントでなく動詞のコンサルトと名付けられたのです。

応援を頼まれて技術担当として入社しました。北海道から九州まで、代理店の販売管理システムの導入の営業支援のため、2~3週間に一度、家に帰るような過酷な営業を10年近く行いました。

株式上場の目標に向かって

代理店の無い沖縄県と島根県以外は全部回りましたが、観光地は残忍ながら殆ど知りません。従業員やその家族が誇れる企業作りを行おうと、取締役全員で討議し、株式上場の目標を立てそれに向かって行動しようと決めたのです。アイネットと社名変更を行い、従業員持ち株会を作り、各種規則の見直しを行いました。

当時証券取引所も自由化の計画があり我々企業は売り上げが小さかったが特例として認めてみようかとの運の良さもあり、店頭登録が認められました。今度は東証2部を目標にしました。社内で年長者の私が退職し、以下当時の取締役はオーナーの社長を除きほとんど退職しました。

会社を通した人生の思い出

その後企業合併などを経過して今は東証1部の会社として活躍しています。子供を立派に育てた喜びと、会社を通して滅多に経験出来ないことをいろいろ経験したことも誇りに思っています。